

論文タイトル

化膿性脊椎炎から膿胸に至った関節リウマチ患者の1剖検症例

著者名

杉山陽介¹，東浩志¹，鮫島有美子¹，高田哲男¹，関庚燁¹，宋美紗²。

所属機関

1)市立伊丹病院 呼吸器内科

2)同病理診断科

要旨

症例は 76 歳男性．関節リウマチにて他院通院中に腰痛が増悪し，体動困難となったため当院を受診した．胸腹部 CT で胸腰椎破壊像と右胸水貯留を認めた．胸水穿刺結果から右膿胸と診断した．脊椎 MRI で Th12，L1 に T2 強調像で高信号病変を認め，化膿性脊椎炎と診断した．右胸腔へトロッカーカテーテルを挿入し，抗菌薬治療を行ったが病状は悪化し死亡した．剖検で化膿性脊椎炎病変部から右胸腔への炎症の進展を認めた．滲出性胸水や膿胸に背部痛を伴う場合は，化膿性脊椎炎からの進展の可能性に注意する必要がある．

キーワード

化膿性脊椎炎，膿胸，関節リウマチ，トシリズマブ

Pyogenic vertebral osteomyelitis, Empyema, Rheumatoid arthritis,
Tocilizumab

短縮タイトル

化膿性脊椎炎から膿胸に至った 1 剖検症例